

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 技術・家庭 ) 小委員会委員長

内 糸 俊 男



<p>調 査 研 究  ・  審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名および数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、教育図書、開隆堂の三者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回調査委員会（7月8日）で三者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第2回調査委員会（8月3日、4日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式2、様式3を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱い内容については、技術分野の目標が達成できるようどのような学習活動が取り上げられているか、知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列等については、系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍については、各節の冒頭に考えたり話し合ったりする「始めの活動」や、学習した内容をまとめ、生活に生かすことができる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。</li> <li>・教育図書については、学習の流れを明確にする「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、単元の習得度合いを自ら確認し、振り返ることができる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。</li> <li>・開隆堂については、各小項目の冒頭に授業の動機付けとなる「導入課題」や、学習を振り返り、学びを深めることができる「学習のまとめ」を掲載するなど主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。</li> </ul>

## 技術・家庭（技術分野）の目標について

## 【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 【学年・分野・領域等の目標など】

## 〔技術分野の目標〕

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 【参考】

## ○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

## ○ 標準授業時数

第1学年 - 70単位時間

第2学年 - 70単位時間

第3学年 - 35単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1・2・3学年 技術分野	技術・701
取扱内容 の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、各学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、身近な製品に関する技術の工夫について考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活上の不便さなどの問題を解決する製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術のプラス面やマイナス面について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、様々な発電方法に関する技術の工夫について考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、エネルギー変換の技術の最適化や燃料電池などの新しい技術の開発について多角的な視点から考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、普段利用している情報について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報機器の利用の便利な点と注意すべき点について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内容の構成・ 排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、「技術分野の学習を見てもよう」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、技術分野の学習を生かして、3年後にできるようになっていたいことをまとめる活動など、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 A材料と加工の技術は70ページ、B生物育成の技術は50ページ、Cエネルギー変換の技術は60ページ、D情報の技術は66ページ、その他は45ページであり、総ページ数は291ページで、前回とほぼ同様となっている。</li> </ul>			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全性や経済性など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、学習を広げ、深めることができる資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各節の冒頭に考えたり、話し合ったりする「始めの活動」や、学習した内容をまとめ、生活に活かすことができる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 思考ツールの活用方法を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	6・教図	第1・2・3学年 技術分野	技術・702 技術・703	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
取扱内容 の目標、内容等	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、普段使っている製品の技術の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、材料の特性を踏まえ、目的に合わせた加工法を用いた製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、作物、家畜、水産生物などに共通する育てる技術を考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術の果たす役割や影響などについてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、生活や社会の中で利用されているエネルギー変換に関する技術を考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、エネルギー変換の技術の果たす役割や新たな技術の開発などについてまとめることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、情報の技術がどのように使われているのか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の果たす役割についてまとめることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、育て方のポイントを調べる方法を取り上げたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習などを行い、実習を通して技術の評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 A材料と加工の技術は80ページ、B生物育成の技術は52ページ、Cエネルギー変換の技術は70ページ、D情報の技術は94ページ、その他は31ページであり、総ページ数は327ページで、前回より約18%増となっている。 ※1教図の「その他」については、統合的な問題を取り扱う「E夢をかなえる技術」を含む。 ※2教図の総ページ数については、別冊「技術ハンドブック」を含む。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 設計や計画を構想することができるワークシートを示したり、実習中に確認できる技能に関する資料を別冊にしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習の流れを明確にする「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、単元の習得度合いを自ら確認し、振り返ることができる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書や別冊の使い方について説明するページを示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句を青太文字にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9	開隆堂	第1・2・3学年 技術分野	技術・704
取扱内容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の工夫を調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、利便性や機能性を追求した製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、夏野菜を一年中栽培することができる技術を調べることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術の発展について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、私たちの生活とエネルギーとの関わりについて考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、工場から排出される熱エネルギーなどの未利用エネルギーを有効に活用する技術について話し合うことを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、生活の中で情報に関する技術がどのように利用されているか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、今後の生活に求められる情報の技術について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をより良くする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>				
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「生活や社会における技術の役割」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習を行い、技術の適切な評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>A材料と加工の技術は74ページ、B生物育成の技術は46ページ、Cエネルギー変換の技術は54ページ、D情報の技術は72ページ、その他は50ページであり、総ページ数は296ページで、前回より約10%増となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 生徒の興味・関心を高めることができる写真やイラスト、図表、コラム等を各ページに示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各小項目の冒頭に授業の動機付けとなる「導入課題」や、学習を振り返り、学びを深めることができる「学習のまとめ」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインの書体にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>				

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会  
 ( 技術・家庭 ) 小委員会委員長

内系 俊男



<p>調査研究 審議の経過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名および数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、教育図書、開隆堂の三者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回調査委員会（7月8日）で三者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第2回調査委員会（8月3日、4日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式2、様式3を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱い内容については、家庭分野の目標が達成できるようどのような学習活動が取り上げられているか、知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列等については、系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍については、幼児の使う小物や食品の概量等の実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」を掲載するなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。</li> <li>・教育図書については、新生児の手形や身近な食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。</li> <li>・開隆堂については、子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。</li> </ul>

技術・家庭（家庭分野）の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[家庭分野の目標]</p> <p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

【参考】

○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○ 標準授業時数

第1学年－70単位時間      第2学年－70単位時間      第3学年－35単位時間

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書		第1・2・3学年 家庭分野	家庭・701
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のためのおやつを考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、家電製品の購入計画について話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul> </li> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>A家族・家庭生活は35ページ、B衣食住の生活は40ページ、C消費生活・環境は28ページ、A家族・家庭生活・B衣食住の生活・C消費生活・環境は11ページ、A家族・家庭生活・C消費生活・環境は36ページ、B衣食住の生活・C消費生活・環境は124ページ、その他は17ページであり、総ページ数は291ページで、前回より約5%増となっている。</li> </ul> </li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 学習のまとめりごとに振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 幼児の視界体験眼鏡や防災減災手帳など実生活に活用できる資料を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>				
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>				



様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・702	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
取 扱 内 容  年 の 目 標 、 内 容 等	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、自然災害に備えた安全な住まいの整え方を考える活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に与える影響を考える活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思ふ目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で地域の人々と協働する方法について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のおやつを工夫したり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新生活に必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>A家族・家庭生活は60ページ、B衣食住の生活は165ページ、C消費生活・環境は43ページ、A家族・家庭生活・B衣食住の生活・C消費生活・環境は10ページ、その他は17ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約3%増となっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりに自己評価する「振り返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 食物アレルギーのある生徒への対応として代替食品の例を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学 年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養バランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母が喜ぶ食事を考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新しい電化製品を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul> </li> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>A家族・家庭生活は53ページ、B衣食住の生活は149ページ、C消費生活・環境は33ページ、A家族・家庭生活・B衣食住の生活・C消費生活・環境は37ページ、A家族・家庭生活・C消費生活・環境は2ページ、B衣食住の生活・C消費生活・環境は6ページ、その他は19ページであり、総ページ数は299ページで、前回より約8%増となっている。</li> </ul> </li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 学習のまとめりごとに基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や、学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 子どもの手形・足形や1日にとりたい食品のめやすなどの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>				
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>				